

> 経営

結城プラン2012

平成24年1月、2012年の行動計画である「結城プラン2012」を策定し、公表しました。

前年の「結城プラン2011」では、63プランのうち55プラン、87%を達成しました。「2012」では、「2011」で継続検討となった課題についても再チャレンジとして含め、本学が取り組むべき65の課題と、その達成目標を明示しています。また、各キャンパスにおいてもアクションプランを策定し、取り組んでいます。なお、「結城プラン2012」については、12月に達成状況を検証し、平成25年1月に「結城プラン2013」を公表する予定です。

学長・理事をはじめ、全教職員が一丸となって課題に取り組み、山形大学が「キラリと光る存在感のある大学」として発展していくように頑張ってまいります。



理想の男女共同参画を目指して

山形大学では、平成21年度から、学生及び教職員が性別にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ学業、仕事と生活の調和を実現することを目指し、「山形ワークライフバランス・イノベーション」事業に取り組んできました。

具体的な取り組みとして、育児、介護期等の女性研究者の研究を支援する研究継続支援員制度、若手の女性研究者等が相談できるメンター制度、育児中の教職員が急に仕事が長引いたときなどに利用できる託児センター制度などを整え、利用されています。また、各学部等における学長・学部長との懇談会、巡回相談、女性研究者の裾野を拡大するための学生や高校生を対象としたセミナーを開催するなど、女性研究者にとって働きやすい職場づくりと女性研究者の育成に向けて、継続的な取り組みを行っております。

平成24年3月には、3年間の事業期間の総括と今後のより一層の推進に向けて、男女共同参画推進総括シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、(独)科学技術振興機構科学技術システム改革事業プログラム主幹の山村康子氏による基調講演が行われた後、本学のこれまでの取り組みの成果と課題及び次年度以降の計画についての報告に対し、山村氏から今後の取り組みのあり方についてアドバイス等をいただいたほか、パネルディスカッションを通して、女性研究者に対する支援の重要性について改めて確認することができました。

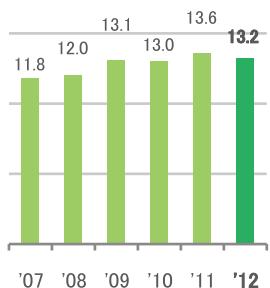
本学では、男女共同参画基本計画を策定し、女性教員の比率を平成25年度までに15%、将来的には25%まで引き上げることを目標とするほか、全教職員のワークライフバランスを実現するための諸施策を掲げて、今後も本計画に沿って男女共同参画社会づくりに向けて大学が担うべき役割を果たしていきます。

注目する学長がいる
大学ランキング
(学長からの評価)

1	国際教養大学
2	金沢工業大学
3	国際基督教大学
4	明治大学
5	東京大学
6	山形大学
7	慶應義塾大学
8	静岡産業大学

(出典:週刊朝日
「大学ランキング 2013年版」)

女性教員の割合 (%)
(各年5月1日現在)



役 員

(平成 24 年 10 月 1 日現在)



結城 章夫

学長



小山 清人

理事(教育、学生支援担当)



北野 通世

理事(総務、入試担当)



深尾 彰

理事(研究、評価、医療担当)



安田 弘法

理事(社会連携、国際交流担当)



柴崎 孝

理事(財務、施設担当)

監事

斎藤 亮一

三浦 正昭